

かぐわしく咲く 聖パウロ伝道の地

エイルディル湖とそこに浮かぶイエシル島は、
静寂な風景と豊かな自然に包まれた湖水地方の知られざるスポットだ。聖パウロ伝道の地でもある。
湖の南端にあるエイルディルの町は 2017 年、チッタスローに登録された。

西のデニズリ、東のコンヤに挟まれ、南のアンタルヤから北に約140kmの地点に位置する湖水地方。空の玄関口はアンタルヤ空港かスレイマン・デミレル空港だ。山あいエイルディル湖、ベイシェヒル湖、ブルドゥル湖が点在する風光明媚なエリアで、特産のバラをはじめ、りんごの果樹園や畑、牧草地などが広がる。ゆったりと暮らす人々に習い、豊かな自然を感じる旅を満喫したい。

ターコイズブルーの輝きを放ち、透明白な水をたたえるウスバルタ県のエイルディル湖は、面積が480km²とトルコで4番目に大きな湖。湖畔に立つと対岸が見えない場所もある。観光の中心は湖の南端にあるエイルディル (Egirdir) の町。露店で土産物を探したり、湖畔

のレストランで特産のホワイトバスのフライを食べたりと、街歩きが楽しめる。歴史的建物では、リディアの王クロイソスによって建てられた伝説もあるエイルディル城跡が有名。ローマ帝国、ビザンチン帝国、セルジューク朝によって増改築されてきた跡がうかがえるのが興味深い。13世紀のフズルベイ・モスクとデュンダルベイ神学校が残っている。

また、エイルディルには湖畔に突き出た岬があり、その先端に2つの島が連なっている。小さなジャン島 (Canada) を挟んでイエシル島 (Yeşilada) があり、埋め立てによりつながった遊歩道を歩けば市の中心から先端までは約20分。ペンションが立ち並ぶ間に民家があり、機織り機を操る地元の人々の姿

見ることができる。

かつてイエシル島には女子修道院があり、子供以外の男子は禁制だったという。修道女たちは湖の対岸のカラバール地区に舟で渡り、収穫したブドウでワインを作っていた。現在この島には聖ステファノス教会跡が残り、イスケレ公園は憩いの場となっている。

エイルディル湖を一望するなら、エイルディルの町から南東へ約7kmにあるアクブナルがお勧め。展望台があり、テントスタイルのカフェでは地元料理を楽しむこともできる。

また、湖水地方の中心都市、エイルディルから35kmのウスバルタ (Isparta) は、バラを楽しむ町。ジャーミー (大礼拝堂) や市場を訪れたり、バラにち

なんだピンクの看板が目立つ店でグッズなどを探すのも楽しい。エイルディルの南約25kmのコワダ湖国立公園では野鳥や動植物のウォッチングができる。

新約聖書の軌跡をたどる

初期キリスト教の使徒で、新約聖書の著者の一人でもある聖パウロ。彼が伝道活動で立ち寄ったとされる場所や聖書ゆかりの地はトルコにもたくさんある。パウロの出生地タルスス (Tarsus) やノアの方舟の舞台となったアララト山、ヨハネの黙示録に登場する7つの教会などだ。実はエイルディルもその一つで、ここから聖パウロは北東のヤルヴァチ (Yalvaç) へ向かったというエピソードもある。

エイルディルを通る聖パウロ・トレイルは、聖パウロの軌跡を感じられる人気のルート。トルコ公式ポータルサイトが選ぶ人気トレッキングルートベスト5にも選ばれており、約500kmもある国内で2番目に長いトレイルとなっている。

トレイルはアンタルヤから東に約10kmのペルゲから始まり、エイルディルを通ってヤルヴァチまで南北を貫くルート。

聖パウロが巡ったであろう道や森林を辿るのはロマンもあるが、全行程を制覇するには27日間が必要だ。本格的なトレッキングを楽しみたい人は挑戦してみてもいいだろう。

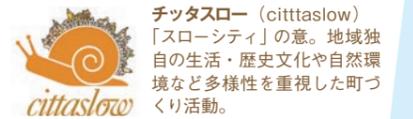
そこで初心者にお勧めなのは、エイルディル湖畔の西側を歩くマウンテンバイク・トレイル。文字どおりサイクリングで行く全長約30kmのトレイルだが、その一部を歩いて巡るのもいい。出発地点はエイルディルのバスターミナル。そこから約3km先にアルトゥンクムビーチがあるのでひと泳ぎすることもできる。トレッキングには春か秋がより適しているが、ビーチで泳ぐことを考えると夏も悪くない。

バイクを利用するなら湖畔沿いをさらに約17km進み、バルラ村でひと休みしてはどうだろう。その先は約9kmでボヤル村に到着。最終ポイントのボヤル湾までは村からわずか300mの距離だ。

なお、マウンテンバイクはエイルディルアウトドアセンターでレンタルが可能だ。家族経営のフレンドリーなショップで、ほかにも湖でのカヌーやウィンドサーフィン、湖畔でのキャンプやフィッシングなどのレンタルや案内をしている。

Egirdir

エイルディル



ウスバルタでトルコ絨毯を

トルコは絨毯の名産地だ。一重結びのベルシャ絨毯に対し、トルコ絨毯は二重結びのダブルノット式。そのため織り方が緻密で、耐久性に優れている特徴がある。国内にはいくつもの産地があり、ウスバルタもその一つ。ウスバルタといえばバラで有名だが、上質なウスバルタ絨毯の産地でもある。

この地で絨毯づくりが始まったのは、製糸工場が建設された1924年。50年代に入ると町の主要道路が整備され、生産は加速した。急速に発展した絨毯産業は72年にピークに達し、当時は従業員9万3700人、織り機4万3400台が稼働していたという。この時生産していたカーベットの総面積は200万㎡というから途方もない。しかし89年には50万㎡に、2002年には30万㎡へと減少し、今に至っている。

規模が小さされたとはいえ、トルコに希少な手工芸品を生み出し、国の経済や文化の発展に寄与したことは大きな功績だ。絨毯は高級品なので気軽なお土産品というわけにはいかないが、丈夫で長持ちする一品を探しにウスバルタを訪れるのもいいだろう。



- 1 ウスバルタにはバラ園があちこちに見られる
- 2 バラからは化粧品用のローズオイルが抽出される
- 3 リディア王クロイソスによって建てられたエイルディル城
- 4 エイルディル市内中心部にはブティックホテルもある
- 5 市内中心部から1.5kmに位置するイエシル島
- 6 エイルディルから南に25km程の距離に位置するコワダ湖国立公園
- 7 1998年に修復されたアヤ・ステファノス教会 (イエシル島内)
- 8 湖畔沿いのサイクリングがお勧め